

Check List

保存版

CHECK 3 苦情やトラブルが発生してしまったら解決に全力を尽くす。

チェックしましょう!! ▶▶▶

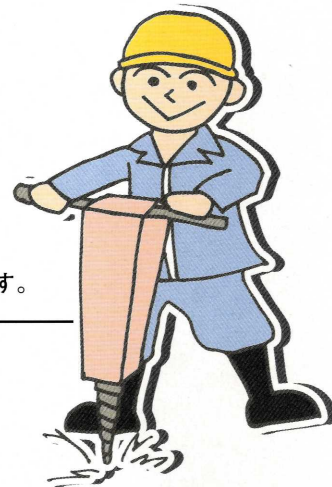
- 1. 迅速に対応し、苦情の原因を速やかに把握する。
- 2. 苦情者の話は、謙虚に受け止め、ていねいに対応し、できる限りの騒音等の防止対策をとる。(対応に不備があると、小さなトラブルが大きなトラブルに発展することがある)
- 3. 責任者を明確にし、応対者により対応が変わらないようにする。
(苦情者に不信感を与えないため)

その他トラブル防止のために…

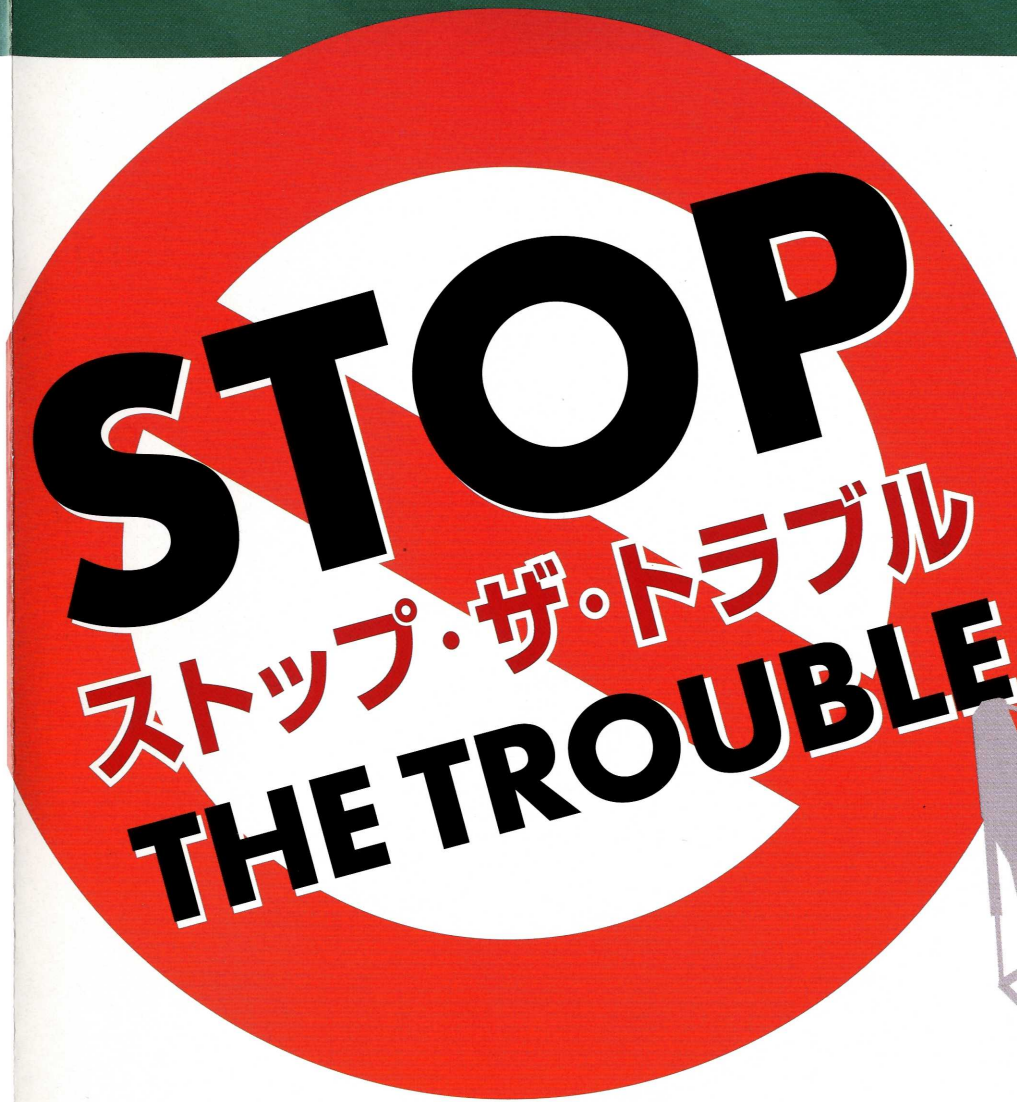
- 1. 工期が長期になる場合は、工事工程ごと、あるいは定期的に説明を行い、工事に対する周辺住民の理解を得る。
- 2. 大きな音や臭いが出る作業の前には、再度説明し、チラシを配付するなど不安感や不信感を与えないようにする。

 新宿区環境清掃部 環境対策課 公害対策係
 【電話】03-5273-3764(直)
 【FAX】03-5273-4070

R100
 古紙配合率100%
 白色度70%再生紙を使用しています。



新宿区では、条例により路上喫煙を禁止しています。
 皆様のご理解とご協力をお願いします。



近隣からの苦情トラブルを未然に防ぐチェックリスト!!

建築物の解体、建設工事を行う際に、周辺住民への説明不足や配慮不足、事前の準備不足のためトラブルが増えています。
 トラブルの原因をすべて取り除くことは困難ですが、少しでも少なくするためのポイントを紹介します。
 事業者の方は、必要な届出等を忘れず、次の点に注意してトラブルの起きない工事となるよう心がけましょう。

- CHECK 1** 工事を始める前にトラブル防止の事前準備を確実に行う。
- CHECK 2** 工事中の苦情防止対策を十分行う。
- CHECK 3** 苦情やトラブルが発生してしまったら解決に全力を尽くす。



Check List

CHECK
1

工事を始める前にトラブル防止の事前準備を確実に行う。



チェックしましょう!! ▶▶▶

1. 工事現場周辺の環境を把握し、近隣に十分配慮した対策をとる。



[例1] 住居地区に隣接している場合は、工事騒音等の影響が大きいので、二重にシートを張る、防音パネルを設置するなど騒音・振動対策を強化する。

(高齢者・乳幼児・勤務が夜間の方が近くにお住まいの場合は特に配慮が必要です)

[例2] 工事現場と、ベランダや物干し場が隣接している場合は、シートやパネルを高めに張るなど、粉じん飛散防止に努める。

[例3] 資材の搬入口や重機の作業場所などは、なるべく近隣居住者に影響を与えない場所を選ぶ。

2. 防音パネル、防音・防じんシートの設置など、防音対策や粉じん対策などが万全か再確認をする。

3. アスベスト(石綿)使用の有無について、法令(石綿則等)に基づき調査する。
また、土壌汚染調査・処理が必要な場所かどうか確認する。

4. 工事現場の周辺住民に対し工事概要、作業時間、日程、現場責任者氏名、連絡先などを十分説明する。(各戸チラシ配付、個別訪問、集団説明会開催などの方法がある)



5. 周辺住民からの苦情窓口となる、工事現場責任者の氏名・連絡先を現場に看板などで表示する。(法令等で規定されている事項についても記載漏れが無い確認する)



Check List

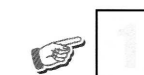
CHECK
2

工事中の苦情防止対策を十分行う。



チェックしましょう!! ▶▶▶

1. 騒音・振動防止について、周辺環境に配慮したていねいな作業に努める。



[例1] 大声を出す、乱暴に作業するなどの行為はしない。

[例2] 足場の組立・解体時や建築資材の搬入時などは、機材等を投げ入れるなどの乱暴な作業を行わない。(解体鋼音・ガラ落下音の防止)

[例3] 作業時間を守る。(大きな音の出るような作業は、朝早く行わない)

[例4] 重機(バックホー・ブレーカー・クラッシャー)は特にていねいに操作する。

2. 粉じん対策について、周辺環境に配慮して十分な対策をとる。



[例1] 建築廃材等の焼却は行わない。(ドラム缶焼きなど)

[例2] 解体粉じん防止のためにも重機はていねいに操作し、まめに水撒きを行い、防じんシートを張るなど徹底した粉じん対策を行う。

3. 飛来落下事故防止や現場の環境美化に努める。



[例1] 資材の整頓を行い、解体廃材・ガラが散乱しないようにまめに清掃をする。

[例2] ゲートが閉まっているか、シートに隙間が無い確認する。

4. 道路の清掃・待機車両や重機等のアイドリングストップを徹底し、誘導員を配置するなどの交通対策を十分に行う。



5. アスファルト防水工事の際は、釜の温度が高いとアスファルト臭が強くなるので、釜の適正温度管理に努める。また釜の蓋をこまめに閉めるとともに、消臭剤を注入するなど悪臭の防止対策を十分に行う。

